

科目	音楽 I	単位数	2 単位	学 年	第 1 学年	講 座	101
教科書	高校音楽 I 改訂版 Music View (教育出版)		副教材等				

学習目標	1 芸術的な能力を伸ばし、美しいものに対する感性を高め、生涯にわたって芸術を愛好する心情を育てる。 2 音楽の諸活動を通して、創造的な表現の能力を伸ばし、鑑賞の能力を高め、音楽を愛好する心情を養う。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
	音楽を形作っている要素を知覚し、創意工夫を生かした音楽表現をするための知識や技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽や芸術の歴史的背景の理解に基づく楽曲の解釈を行い、それらを創意工夫に生かした表現をするための技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽活動の喜びを味わうとともに、音楽や芸術文化に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。友達と合わせて演奏することで響きあいの心地よさを感じ、協力し完成させようとしている

時 期	学 習 計 画 及 び 内 容		評 価 方 法
1 学期	4 月	校歌	・校歌の歌唱を通して母校に対する関心高めさせ、自信を持って元気に歌う姿勢を養う。 ・美しい詩の内容に応じた音楽の美しさにふれ、より表現豊かな音楽を理解する。 ・リコーダーやキーボードの基本的な奏法を学び、簡易な楽器に触れることで演奏の喜びを知る
	5 月	言葉と音楽 器楽アンサンブル	
	6 月		
	7 月		
2 学期	8 月	合唱とアンサンブル	・文化祭で発表するために合唱や器楽の演奏技術を高める。 ・美しいハーモニーや響きのある歌声の心地よさを感じるとともに、リズムに乗って歌うことの楽しさを味わう。 ・キーボードを中心としたアンサンブルの練習を通し、一つの曲を完成させるためにはどのパートも必要であるということを実感する。 ・楽典についての知識を知る。
	9 月		
	10 月		
	11 月		
12 月	創作		
3 学期	1 月	合唱 西洋音楽史	・作曲の基本として拍子・リズム・調の役割を知る。 ・単旋律に対して、コード（和音）とはどのような効果があるかを知る。 ・メロディーに対して伴奏がどのような役割を果たしているかを知る。 ・卒業式に向けて心を込めて歌うということの切さを知り、その姿勢を養う。 ・西洋文化史の中での音楽を理解する。
	2 月		
	3 月		

学習の方法	1 表現活動では、歌唱（独唱・合唱）器楽アンサンブルに取り組む中で、個人の技術を高めるだけでなく、合わせて演奏する心地よさを味わい、皆で完成させる喜びを知る。 2 鑑賞では音楽史の学習を通して、名曲と言われ、聴き継がれている曲を知る。自分のお気に入りの曲を紹介し、発表することでプレゼンテーションの力をつける。 3 文化祭や卒業式での発表を通して、発表の喜びを知る。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

備考	
----	--